



“りそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター

まなぼ! Study

2024
February
2月

制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

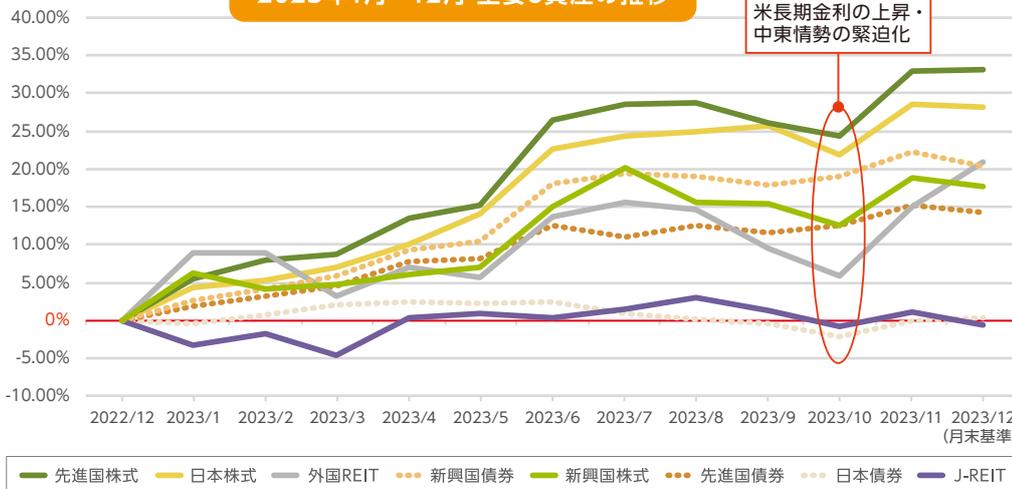
その他

2023年の各資産はどんな動きだった？

2023年は世界的な株高や円安の影響等もあり、総じて好調な値動きを見せました。特に日本株式や先進国株式は大幅なプラスとなりました。各資産の値動きを振り返ってみましょう。



2023年1月～12月 主要8資産の推移



J-REITを除いたすべての資産がプラスとなった1年でした。りそな銀行ご利用者の1年間の平均利回りも好調でした。

〈1年平均利回り〉

企業型DC	10.13%
個人型 DC個人型プラン	4.88%
個人型 つみたてiDeCoプラン	11.98%
個人型 りそなiDeCo (運営管理機関手数料無料型)	※

※2023年4月取扱い開始で1年未満のため、表示しておりません。

株式

日本株式、先進国株式が大幅に上昇しました。日本株式では、5月の新型コロナウイルスの5類移行による経済活動の正常化や海外投資家の大幅買い越しの影響等から、7月にはバブル景気以来34年ぶりの高値水準となりました。先進国株式では、米国の大型ハイテク株に対し、革新的な技術と将来の成長性に対する強い期待が集まったことが上昇の後押しとなりました。新興国株式では、ブラジルやインド等が底堅い上昇傾向でしたが、中国株が景気回復の鈍さや不動産不況の長期化等により下落した影響から、先進国を下回る結果となりました。

債券

先進国債券は、5月以降に米欧の根強いインフレ圧力から利上げの長期化が見込まれ、長期金利が上昇したものの、円安の進行がパフォーマンスを支えました。11月以降は日米の金融政策が転換するとの見方が強まり、米長期金利が低下するとともに、為替市場では円高が進行しました。新興国債券は、先進国の長期金利が低下したことにより、相対的な投資魅力が高まり、堅調に推移しました。日本債券は、金融緩和の継続により小幅な値動きとなりました。

REIT (リート)

外国REITは、堅調に始まったものの、インフレの影響で米欧の中央銀行では相次ぐ利上げがあり、長期金利が上昇し調整が入りました。インフレが鈍化した11月以降は反発し、年末にかけて相場上昇が見られました。J-REITは、年初から3月にかけての下落基調から、4月以降は日本株式の上昇等が支援材料となったものの、総じて上値の重い展開となりました。

コラム

分散投資について改めて考えよう

昨年1年は、J-REITが他の資産に比べて低調な値動きになっていますが、毎年必ずこのような結果になっているわけではありません。過去には株式よりもREITが好調な年もありました。どの資産が値上がりするか、値下がりするかは予測することができません。改めて、資産や地域を分散することを検討してみましょう。

“りそにゃ”とまなぼ! は毎月発行しています。

バックナンバーはこちらからご覧いただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>

2024年2月発行

りそな銀行 信託年金営業部
DC運営管理グループ

〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

りそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+ [2#]

本レターの無断引用・転載はお断りします。

